

# 輪

広報誌

Kitakyushu  
Municipal Medical Center  
COMMUNICATION PAPER

vol.87 | November 2022

ご自由にお持ちください

2023年 北九州市立医療センターは誕生150周年を迎えます



がん特集

血液がんについて

特集 内分泌疾患の診療について

TOPICS

3.0T MRI導入について

スタッフ紹介

専門・認定看護師紹介



専門看護師・認定看護師のみなさん

地方独立行政法人 北九州市立病院機構  
北九州市立医療センター

「ウイルス・コロナ」となり、今まで鳴りを潜めていた別の感染症が徐々に目立つようになってきました。その中の一つに、感染性胃腸炎（いわゆる食中毒）も2020〜21年に比べ増加傾向となっています。

感染性胃腸炎には、大きく分けてウイルス性と細菌性があります。一般的に、気温が高い時期に多いのが細菌性、冬から春にかけて目立ってくるのがウイルス性です。特に今からの時期に増えるのが、ノロウイルス感染症です。

この感染症は貝類を食べて発症することが知られていますが、ノロウイルスは貝の中で増殖するのではなく、一部の貝が環境から取り込み、貝の中で濃縮した結果としてそのウイルスを保有しています。しかし、いろいろな流通の

### 主な感染性胃腸炎の流行時期

秋	ノロウイルス	
冬	ロタウイルス	
春	サルモネラ	
夏	カンピロバクター 病原性大腸菌 など	

対策により食中毒の原因食材が貝類と特定される割合は年々低下し、感染経路が分かりにくくなってきているとの話もあります。

予防するためには、調理するときの二次感染を防止する、抵抗力の弱い方の食事は特に充分加熱する、感染した人の便や吐物には注意しながら処理をすることが大切になります。

感染に気を付けながら美味しいものを食べて楽しみましょう。

## 気を付けよう 食中毒 今からの時期は、特にノロウイルス！



総合診療科 主任部長  
内田 勇二郎  
うちだ ゆうじろう

### 標榜診療科一覧

内科	呼吸器内科	小児科	肝臓外科	脳神経外科	眼科
肝臓内科	消化器内科	外科	胆のう外科	呼吸器外科	耳鼻咽喉科
血液内科	循環器内科	消化器外科	膵臓外科	心臓血管外科	放射線科
感染症内科	腫瘍内科	乳腺外科	食道外科	小児外科	病理診断科
心療内科	内分泌・糖尿病内科	内分泌外科	胃腸外科	皮膚科	救急科
精神科	緩和ケア内科	大腸外科	整形外科	泌尿器科	麻酔科
		肛門外科	リハビリテーション科	産婦人科	歯科

### 基本理念

わたくしたちは  
公共的使命を自覚し  
心のこもった  
最高最良の医療を提供します

### 基本方針

1. 患者さんの権利 個人情報保護し 患者さんの立場に立った医療を行います
2. 十分な説明と同意による信頼関係のもとに 患者さんが満足できる医療を行います
3. 安心かつ安らぎが得られる質の高い医療をめざし 安全管理を徹底します
4. 常に研鑽して最高水準の医療知識・技術を習得し あわせて温かい心を持つ医療人をめざします
5. 地域における役割を自覚し 地域の医療機関とともにその責務を果たします
6. 合理的かつ効率的な病院経営に努めます

### 編集後記

広報誌「輪」編集長  
高島 健

今年最後の「輪」となりました。毎号、新しい取り組みをご紹介していますが、個人的なイチ推しは3.0T MRIの導入です。従来のMRIよりもビックリするほど高画質となり、深層学習というAI(人工知能)技術によって検査が短時間で終わります。技術の進歩に感動です。

来年、当院は誕生150周年を迎えます。「輪」におきましては、当院の診療や活動等について、より分かりやすい誌面づくりに努めてまいりますので、今後ともよろしくお願いいたします。

輪  
Kitakyushu  
Municipal Medical Center  
COMMUNICATION PAPER  
vol.87 | November 2022

発行日 / 2022年11月1日



地方独立行政法人 北九州市立病院機構  
北九州市立医療センター  
〒802-8561 北九州市小倉北区馬借二丁目1番1号  
TEL 093-541-1831 (代表) FAX 093-533-8693  
外来予約センター 093-533-8660  
【月～金 9:00～16:30】紹介状または二次検診初診受付  
ホームページ <https://www.kitakyu-cho.jp/center/>

ホームページ Facebook Instagram



※本誌では撮影用にマスクを外しています。



# 血液がん



北九州市立医療センター  
血液内科 主任部長  
**杉尾 康浩**  
すぎお やすひろ

## 血液がんは、分りにくい

よく耳にする言葉です。患者さんからだけでなく、医師同士の会話でも聞かれます。理由は単純で、分類が非常に多く、全体像を把握することが難しいからです。血液がんの代表と言えば白血病ですが、これだけでも細かく分類すると50以上になります。そこで、この原稿では、多少の誤謬(ごびゅう)には目をつぶり、なるべく単純で分かりやすい話をします。

## 血液がんのしくみ

血液の中には、白血球・赤血球・血小板という細胞(血球)が含まれていることをご存知の方が多いと思います。しかしこれら3つの異なる細胞たちも、元をたどれば同じ一つの細胞であることは、一般

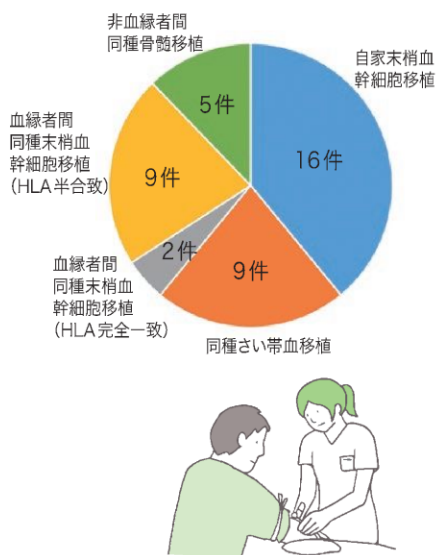
的にあまり知られていません。その細胞は造血幹細胞(ぞうけつかんさいぼう)以下、

幹細胞と呼ばれています。幹細胞は、骨髄の中で自分自身の複製を作りながら、プログラムに沿って成長していきます。完全に大人の細胞にまで成長したものが、わたしたちが採血で目にする白血球などの数値なのです。白血病やリンパ腫などの血液がんは、このプログラムのどこかにミスが起こることで発症します。例えば、急性白血病は幹細胞の成長が止まり、若い細胞(芽球)が異常に増えることが原因です。増えた芽球は、骨髄という限られた環境の中で赤血球と血小板の成長の邪魔をするため、白血病の方の多くは、貧血や出血を起こします。骨髄の中から芽球を追い出して、正常の造血を取り戻すこ

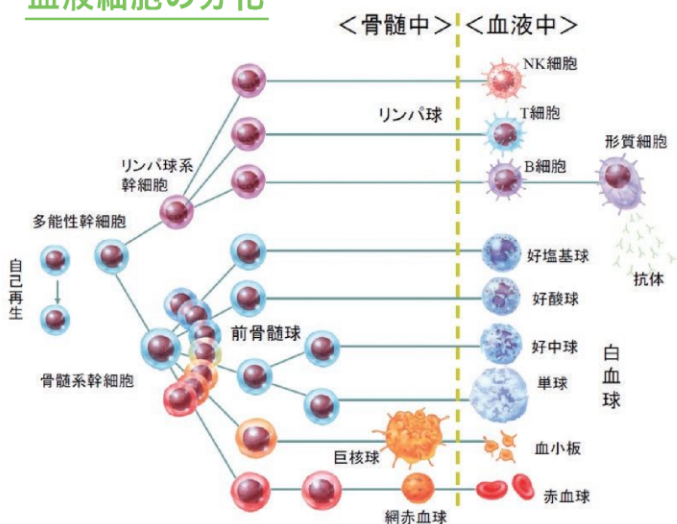
## 新しい治療法

ここ20年の治療法の進歩は目覚ましいものがあります。分子標的薬と呼ばれる新しい薬剤もその一つです。この薬は、白血病やリンパ腫が生存するために必要な、遺伝子やタンパク質を標的とすることで細胞死に導きます。古典的な抗がん剤に比べて、体への影響が少ないのが特徴です。代表的なものとして、慢性骨髄性白血病に対するチロシンキナーゼ阻害剤があります。それまで骨髄移植以外では治療に導くことが困難な病気でしたが、今では外来での内服治療が可能となりました。さらに移植法の進歩にも目を見張るものがあります。骨髄にしか存在しないと

## 2021年 診療実績



## 血液細胞の分化



思われていた造血幹細胞ですが、実ははその緒の血液(さい帯血)の中や、ある条件の血液(末梢血)中にも存在することが分かりました。わたしたちは、これら骨髄、さい帯血、末梢血、それぞれの幹細胞を用いて、最適なタイミングで移植を行っています。また、移植を成功へと導く重要な要素の一つがドナーさんの選択です。その障壁となっているHLA (Human Leukocyte Antigen: ヒト白血球抗原)にも新たな知見が加わりました。今までは完全に一致することが移植の条件でしたが、新しい移植法(ハプロ移植)を用いれば、半分の一致でも移植が可能となりました。これまでドナーになれなかった兄弟、親子からの移植が可能となり、患者さんへの福音と言えます。1995年から始まった当院の移植数は、このような新しい移植法も駆使しな

がら、2019年には累計1,000例を突破しました。

## やすひろ

血液がんでお困りの患者さんや近隣の先生方へお伝えしたいことがあります。当院では、血液専門医や移植認定医の資格を持つ5名の医師が在籍しており、過去もつとも充実した診療を行える体制が整っています。血液がんに関するお問い合わせは、まずはお気軽に当院の医療連携室までご連絡ください。

## PROFILE

### 杉尾 康浩

2006年に着任し、昨年主任部長に就任しました。当院の強みは、医師、歯科医師だけでなく看護師、コメディカルの多職種の方々と良好なコミュニケーションを取りながら、チーム医療を実践できているところです。カンファレンスでも、患者さんの「治したい」という気持ちを大事にしており、つねに患者さんに寄り添う診療を心がけています。

【専門医等】 日本内科学会認定内科医・総合内科専門医  
日本血液学会専門医  
日本造血・免疫細胞療法学会造血細胞移植認定医

【所属学会等】 日本内科学会  
日本血液学会  
日本造血・免疫細胞療法学会



# 内分泌疾患の 診療について

内分泌代謝・糖尿病内科では、  
糖尿病と内分泌疾患の診療を行っています

当院糖尿病内科は、糖尿病診療に加え、  
2018年から内分泌疾患の診療を開始  
し、科名を「内分泌代謝・糖尿病内科」と  
変更しました。甲状腺、副腎、下垂体、性  
腺疾患や骨代謝疾患など、内分泌疾患を  
幅広く診療しております(表1)。

内分泌疾患は、頻度の高い疾患から、  
診断や治療が難しい稀少疾患を多く含み  
ます。また、厚生労働省の指定難病の症  
例も多くあります。そのため、内分泌疾患

は、専門性が高い診療が必要となります。

当院では、内分泌専門医が、内分泌的  
負荷試験などを通して診断と、内科的治  
療を行い、放射線科では、画像検査や副  
腎静脈サンプリングなどで局在診断を行  
い、外科では、甲状腺、副甲状腺の外科的  
治療、泌尿器科では副腎の外科的治療を  
行っており、各々の内分泌疾患に対して、  
各科が連携して、集学的な診療を行って  
おります。

ホルモンは全身の恒常性を維持し、健  
康な生活を送るために重要なものです。

ホルモンの分泌亢進や分泌低下は、全  
身の臓器に影響を与えます。バセドウ病の  
ように動悸や体重減少など症状が出やす  
い疾患もあれば、成人成長ホルモン分泌  
不全症のように症状が出にくい疾患もあ  
ります。ホルモンの分泌異常は治療をしな  
いと一生続き、程度に差はありますが全身  
の様々な臓器に影響を与えます。ホルモン  
の異常が疑われれば、内分泌専門医を受  
診し、早期に検査と治療を受けることが  
望まれます。

原発性アルドステロン症は、高血圧をき  
たす疾患で、高血圧の方の5〜10%に存  
在し、頻度が高い内分泌疾患です。原発性  
アルドステロン症は、一般の高血圧症と比  
較して、脳卒中、心筋梗塞、心房細動を  
きたす危険が高く、治療が一般の高血圧症  
と異なるため、高血圧症の方は、内分泌の  
検査を受けることが勧められています。

CTなどの画像検査で、約1〜3%に  
副腎腫瘍(副腎偶発腫瘍)を指摘されま

すが、副腎腫瘍の約20%に副腎からのホ  
ルモン分泌過剰を認めます。サブクリニカ  
ルクッシング症候群のように高血圧や糖  
尿病などの生活習慣病と関連する疾患  
や、褐色細胞腫や副腎がんなど副腎の手  
術が必要となる場合もあるため、副腎腫  
瘍を指摘されたら、早期に検査を受ける  
ことが必要です。

当院は、がん診療連携拠点病院(高  
度型)であり、免疫チェックポイント阻  
害薬にて治療を受けられる方が多くお  
られます。本薬剤による免疫関連有害  
事象(irAE)である、甲状腺や下  
垂体・副腎機能異常、1型糖尿病に対  
して、早期診断、治療に尽力しており、  
安心して治療を受けていただく体制を  
作っています。

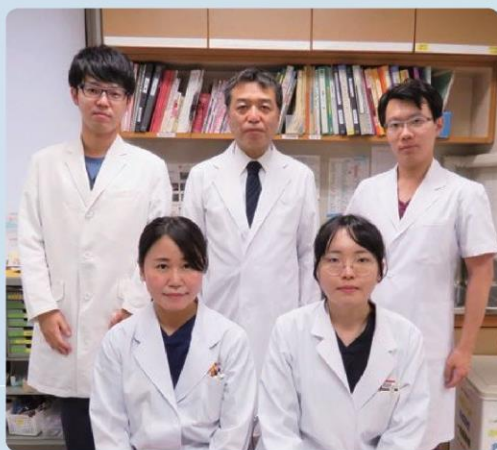
ホルモン分泌異常は、稀な疾患ではなく、  
頻度の高い疾患です。当院は、内分泌診  
療を行う環境が整っております。各々の内  
分泌疾患に対して、正確な診断と、適切  
な治療を行っていききたいと思っています。



内分泌代謝・糖尿病内科  
主任部長  
**足立 雅広**  
あだち まさひろ

●表1/当科へ紹介の多い内分泌疾患

甲状腺	バセドウ病、橋本病、甲状腺機能低下症、甲状腺腫瘍(甲状腺がん)など
副腎	原発性アルドステロン症、(サブクリニカル)クッシング症候群、副腎(偶発)腫瘍、褐色細胞腫、副腎皮質機能低下症 など
下垂体	下垂体機能低下症、プロラクチノーマ、先端巨大症、下垂体腫瘍、尿崩症、成人成長ホルモン分泌不全症 など
副甲状腺	原発性副甲状腺機能亢進症、カルシウム代謝異常、骨粗鬆症 など
性腺	男性・女性性腺機能低下症、LOH症候群 など
その他	免疫チェックポイント阻害薬によるirAE、肥満症 など



PROFILE

足立 雅広

2018年に当院に着任し、内分泌疾患の診療を開始しまし  
た。内分泌疾患全域において、患者さんの個別性を重視し  
ながら、質の高い医療が提供できるよう努力して参ります。

- 【専門医等】 日本内科学会総合内科専門医・指導医  
日本内分泌学会専門医・指導医  
日本糖尿病学会専門医・指導医  
日本老年医学会老年病専門医・指導医  
日本肥満学会専門医・指導医  
日本骨粗鬆学会認定医 など

- 【所属学会等】 日本内科学会、日本内分泌学会、日本糖尿病学会、  
日本老年医学会、日本肥満学会、日本骨粗鬆学会、  
日本甲状腺学会、日本ステロイドホルモン学会 など



# 3.0T MRI導入について

当院は1.5T（テスラ）MRIを2台で稼働しておりましたがそのうちの1台を最新の3.0T（テスラ）MRIに更新いたしました。  
 (Philips 社製 3.0T・MRI Elition X®)

## T（テスラ）とは？

MRI装置は、磁石を用いて人体の情報を得る装置です。放射線と違って被ばくはありません。その磁石強度の単位を「テスラ」といいます。

- 今回の更新で1.5Tから3.0Tに磁石の強さが大きくなりました。
  - 磁石の強さが大きくなると、画質が良くなります
  - 検査時間が短くなります
- 患者さんに短時間で高画質の検査を提供することができます。

また、MRIのトンネルの直径が70cmと従来よりも10cm広がり、長さも短くなったことで、従来よりも閉塞感が軽減されています。

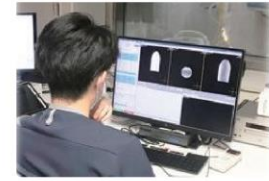
## AI画像再構成

医療における人工知能（AI）は、近年注目されており、ここ数年でAI技術開発が急速に進められております。

新装置にもAI技術が活用されており、検査効率の向上だけでなく、検査を受けられる患者さんへの配慮ができる装置となっております。

さらに、深層学習（Deep Learning）と呼ばれるAI技術を活用した画像再構成が可能となり、従来と比較して短時間で高精細な画像を提供することが可能となりました。

上記の最新技術を駆使しても、MRI検査



は音が大きい環境下で動けない苦痛を伴う検査であることには変わりありません。

MRIスタッフ一同、患者さんの苦痛を和らげ、気持ちよく検査受けていただくことを目標に対応してまいります。

放射線技術課  
 診療放射線技師長（MRI担当）  
**長島 利一郎**  
 ながしま りいちろう

## 新チーム紹介

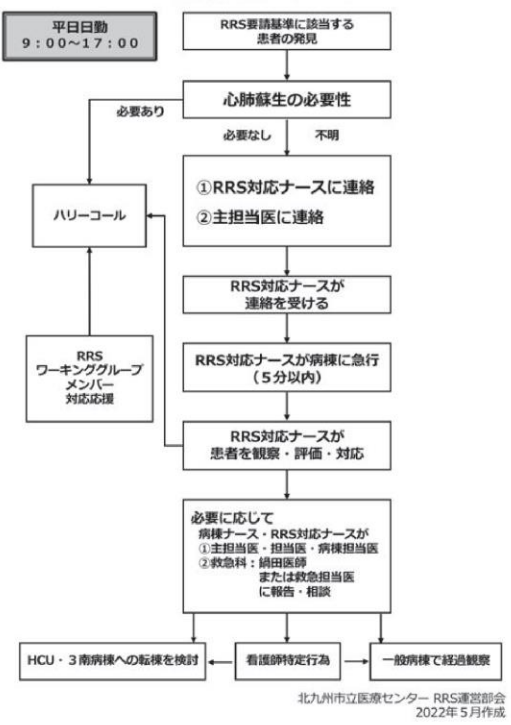
# 院内迅速対応チーム RRT

が発足しました

副院長 医療安全管理室長  
**大野 裕樹** おおの ゆうじゅ



## 院内迅速対応システム【RRS : Rapid Response System】活動フローシート



北九州市立医療センター RRS運営部会 2022年5月作成



RRT活動コアメンバー

これまで院内には「ハリーコール」という体制がありました。これは院内で状態が急速に悪化した患者さんを見つけた場合、全館放送をかけ、なるべく多くの人を集めて全力で救命にあたるというものです。しかし、そのような患者さんは急変の前兆を発していることがあります。

このたび発足したRRTは、その前兆を早期発見・早期対応し、患者さんの状態が急変するのを防ぐ役割を担っています。つまり、RRTの最大の目的は患者さんがハリーコールを必要とする重篤な状態になることを未然に防ぐことです。

具体的には、入院中の患者さんの呼吸回数や呼吸状態の変化、脈拍や血圧の変化、意識レベルの変化等を看護師やリハビリテーションのスタッフが発見したものの、主治医が手術等ですぐに対応できない場合がRRTの出番となります。チーム発足以降、連絡を受けて急変を未然に防げた例が出てきています。現在は平日昼間だけの対応ですが、今後は夜間休日も含めた24時間体制にする予定です。より安全で安心な医療を構築するため、メンバーがリーダーとなり院内急変を防ぐ、質の高い医療を牽引していきます。





知って得する

# 病院のかかり方

## 後期高齢者医療の被保険者の医療費の窓口負担割合が変わります

### 配慮措置が適用される場合の計算方法

例：1か月の医療費全体額が50,000円の場合

窓口負担割合1割のとき ①	5,000円
窓口負担割合2割のとき ②	10,000円
負担増 ③ (②-①)	5,000円
窓口負担増の上限 ④	3,000円
払い戻し等 (③-④)	2,000円

### 配慮措置

1か月5,000円の負担増を3,000円までに抑えます。

### 負担割合変更のイメージ

令和4年9月30日まで		令和4年10月1日から	
区分	医療費負担割合	区分	医療費負担割合
現役並み所得者	3割	現役並み所得者	3割
一般所得者等	1割	一定以上所得のある方	2割
		一般所得者等	1割

毎月、初めての受診時に保険証の確認をしております。お手数ですが、ご来院の際は、本館1階3番計算窓口までご提示をお願いします。  
 なお、ご不明な点がございましたら、医事係までお問い合わせください。



**見直しの背景**  
 令和4年度以降、団塊の世代が75歳以上となり始め、医療費のさらなる増大が見込まれています。  
 後期高齢者の医療費のうち、窓

**経過措置について**  
 10月1日の施行後3年間(令和7年度9月診療分まで)は、2割負担となる方については、窓口

10月1日から、一定以上の所得のある方は、現役並み所得者(窓口負担割合3割)を除き、医療費の窓口負担割合が2割になります。窓口負担割合が2割となる方は、後期高齢者医療の被保険者全体のうち約20%の方です。

口負担を除いて約4割は現役世代(子や孫などの世代)の負担(支援金)となっており、今後増加していく見通しとなっています。  
 今回の窓口負担割合の見直しは、現役世代の負担を抑え、国民皆保険を未来につないでいくためのものです。

負担割合の引き上げに伴い、1か月の外来医療の負担増加額を3,000円までに抑えられます(入院の医療費は対象外)。  
 経過措置の適用で払い戻しとなる方には、高額療養費として、事前に登録されている高額療養費の口座へ後日払い戻します。

# 専門・認定看護師紹介

13分野22名の専門看護師・認定看護師が活躍しています



### 太郎良 純香

たろうら すみか

がん看護専門看護師・  
がん性疼痛看護認定看護師

患者さん・ご家族からの学びが支えとなり今に繋がっています。院内・地域社会への還元に努めてまいります。

### 佐々木 雅子

ささき まさこ

がん性疼痛看護認定看護師

個々の痛みを理解し、その人らしさが維持できるよう心を込めて丁寧にケアしていくことを大切にしています。

### 栗田 睦美

くりた むつみ

緩和ケア認定看護師

患者さん、家族の希望や価値観を大切にし、その方にとっての最善を考えながら看護できるよう努めています。

### 遠藤 千愛

えんどう ちあき

緩和ケア認定看護師

患者さん・ご家族が希望する場所での人らしく療養生活が送れるよう、多職種と協働してサポートします。

### 樵田 美香

こがた みか

がん放射線療法看護認定看護師

患者さん、ご家族に寄り添い安心して治療を受けていただけるようコーディネートいたします。

### 古賀 亜佐子

こが あさこ

乳がん看護認定看護師

乳がん治療と日常生活が両立できるように寄り添い、患者さんが安心して信頼できる看護師でいたいと思っています。

### 安藤 育枝

あんどう いくえ

乳がん看護認定看護師

乳がん患者さんが、その方らしい治療選択を行えるように一緒に考え、思いに寄り添える支援を心がけています。

### 竹坂 信子

たけさか のぶこ

がん化学療法看護認定看護師

がん看護外来で活動しております。患者さんやご家族に寄り添える看護を目指し、日々努めて参ります。

### 近藤 佳子

こんどう けいこ

がん化学療法看護認定看護師

それぞれの患者さんがその人らしく治療を受けていただけるよう、たくさんの笑顔を見せていただけるよう励みます。

### 小長光 明子

こながみつ あきこ

がん化学療法看護認定看護師

患者さんが抗がん薬治療を受けながら、その人らしく生活ができるように支援していくことを大切にしています。

### 谷岡 直子

たにおか なおこ

感染管理認定看護師

医療関連感染の低減を目指して活動しています。私のモットーは諦めないこと・地道にやり続けることです。

### 田中 裕之

たなか ひろゆき

感染管理認定看護師

愛情を基盤とし、過度になりすぎず、ただし患者さんの療養生活を守る感染対策を目指します。

### 駒谷 祥子

こまたに しょうこ

感染管理認定看護師

感染対策の基本である手指衛生を、誰もが日常的に遵守できるよう実践・指導・相談を行います。

### 増居 洋介

ますい ようすけ

クリティカルケア認定看護師

特定認定看護師として、タイムリーな医療の提供と医師の業務負担の軽減により、皆の幸せを探究しています。

### 隈本 兼多

くまもと けんた

クリティカルケア認定看護師

「挑戦」という言葉を大事にしながら、何事にも前向きに、一生懸命に取り組むように意識しています。

### 野中 麻沙美

のなか あさみ

集中ケア認定看護師

重篤化の予防と早期回復に努めながら、退院後も入院前と変わらない生活を送れる事を意識し活動しています。

### 佐古 直美

さこ なおみ

手術看護認定看護師

この度人生初の手術を経験し、改めて手術看護は裏方仕事だと実感しました。見えない所で周術期を支えるがモットーです。

### 村上 千里

むらかみ ちさと

新生児集中ケア認定看護師

赤ちゃんと家族の幸せをモットーに、新生児看護をしています。「お家に帰って家族みんなと暮らそうね!」

### 鶴川 真弓

つるかわ まゆみ

摂食・嚥下障害看護認定看護師

食べることは生きることに直結します。最期の時まで「食」を楽しむことができるよう寄り添い支えます。

### 田上 陽子

たがみ ようこ

皮膚・排泄ケア認定看護師

褥瘡・人工肛門・失禁の皮膚ケアでは、きれいな皮膚と患者さんの笑顔を守ることを心がけています。

### 守田 弥生

もりた やよい

認知症看護認定看護師

認知症の患者さんが「その人らしく」療養生活を過ごせるように支援させていただくことを目標としています。

### 草場 慶江

くさば のりえ

認知症看護認定看護師

認知機能の低下で入院や治療に不安を持たれる方が、安心して入院治療が行えるようお手伝いいたします。



# 連携病院のご紹介

## 社会医療法人北九州病院 北九州湯川病院

北九州市小倉南区湯川5丁目10-10  
TEL 093-923-8833  
FAX 093-923-8834

### 診療科目

- 内科
- リハビリテーション科

院長  
**永島 明 先生**  
ながしま あきら



当院は市立医療センターはじめ市内や京築地区の急性期病院、また介護施設や近隣のクリニックの先生方から多くの患者さんをご紹介いただいています。退院までのサポート、あるいは長期療養、末期がん患者さんの緩和ケアなどにも対応しています。

自宅で介護をしている方の病氣、急用、休養のために介護を受けている方の短期の入院（レスパイト入院）も可能です。

急病で駆け込む病院ではないかも分かりませんが、急性期病院やかかりつけのクリニックの先生方とは異なる立場で、地域の皆さまに安心を提供できる病院でありたいと思っております。

### 地域の方、患者さんへのメッセージ

2021年3月に旧北九州総合病院跡地に増改築移転しました。

重度の障害や意識障害などの後遺症がある方、パーキンソン病などの神経難病をお持ちの方などを対象とした障害者病棟60床、急性期の治療を終えたが、家庭や施設での管理が困難な慢性期の患者さん、自宅や施設で介護を受けていたが医療が必要になった方などを対象とする療養病棟120床、療養病棟では受け入れが難しかった医療必要度が低い方の短期の入院にも対応可能な地域一般病棟42床があります。また、介護医療院96床を併設しています。

### 当院について

## 「医療連携の会」を開催しました

8月23日に3年ぶりとなる医療連携の会をハイブリッド形式で開催しました。

中西洋一理事長、松村洋小倉医師会長の挨拶に続き、中野徹院長より「当院救急外来の取り組み」として、昨年4月の救急部立ち上げ、10月には救急科医師赴任に伴い、救急車の受け入れがスムーズになっていることの報告がありました。

その後、佐藤栄一腫瘍内科主任部長から最新のがん医療「がん遺伝子パネル検査」、赤川進外科部長から最新手術「食道がん・胃がんに対するロボット支援手術」、天野敏之脳神経外科部長から「脳神経外科の取り組み」として高難度延髄腫瘍摘出術などの講演がありました。多くの方にご参加いただきありがとうございました。

来年こそは本格的な対面開催ができることを祈念しています。



## 登録医のご紹介



### 医療法人美姫星 まこと脳神経外科クリニック

北九州市小倉北区片野新町二丁目14番10号  
TEL 093-922-0119

### 診療科目

- 脳神経外科
- 脳神経内科
- 整形外科
- リハビリテーション科

### 診療時間

	月	火	水	木	金	土	日
8:30~18:00	●	●	●	●	●	—	—
8:30~12:30	—	—	—	—	—	●	—



院長 **呉島 誠 先生**  
くれしま まこと

### 当院について

2021年4月より開院した医療法人美姫星まこと脳神経外科クリニックです。頭痛、物忘れ、めまいで悩んでいる方や、認知症、脳梗塞、てんかんなどの診断・治療を行っております。MRIも完備しております。

### 地域の方、患者さんへのメッセージ

頭痛でお困りの方や家族の物忘れが心配な方は、当日にMRI検査や診察などを行い、迅速に治療を行っております。何か頭のことで心配なことがあればお気軽にご相談ください。

### 医療法人 小野クリニック

北九州市小倉南区沼新町1丁目2-10  
TEL 093-474-8881

### 診療科目

- 内科
- 消化器内科

### 診療時間

	月	火	水	木	金	土	日
9:00~13:00	●	●*	●	●	●	●	—
15:00~18:00	●	●	●	—	●	—	—

\*火曜日は9:00~12:00まで



理事長 **小野 貴大 先生**  
おの たかひろ

### 当院について

小倉南区沼新町にて内科・消化器内科の診療を行っております。専門の診療のほか生活習慣病等の診療も行っておりますので、気になることはお尋ねください。

### 地域の方、患者さんへのメッセージ

内視鏡検査は経鼻内視鏡の使用や、眠くなる薬を使用しての実施も可能です。お気軽にご相談ください。